

サーチライト With Pastor Jon 黙示録 21 章 パート 3

このメッセージはアップルゲート クリスチャン フェローシップの、ジョン・コーソン牧師が公開したメッセージを、アメリカ在住の日本人クリスチャン木下言波が翻訳して YOUTUBE やブログに上げたものを文字化したものです。世界的なインターネット規制が始まろうとしています。私達はその日のために、文字にして紙に記録するのを感じました。また、インターネットに不慣れな方や字幕を追って読むのが困難な方のためにも必要があると主に迫られたと感じます。

※インターネットのメッセージを、文章化するこの働きを始めた姉妹が、現在目を患って治療中です。どうか、りょくさんの為にも、お祈りください。

「きょう、もし御声を聞くならば、あなたがたの心をかたくなにはならない。」ヘブル 4 : 7

メッセージ by ジョン・コーソン牧師 アップルゲート クリスチャン フェローシップ

<http://joncourson.com/>

7590 Highway 238 Jacksonville, OR 97530

訳 by 木下言波 DivineUS : <https://www.youtube.com/user/TheDivineUs>

筆記 by Rin

どの門もそれぞれ一つの真珠からできていた。

都の大通りは、透き通ったガラスのような純金であった。(黙示録 21:21)

前回もお話しましたが、もう一度言っておきます。通りは金でできています。

でもこれは、「うわ！見てよ！！道が金だー！すごい!!!」というものではありません。

金といえば、この世では最高の価値を置くもので、金を巡って争ったり、戦争が起きたり、それを得ようとして必死になります。人々は金を手に入れるために生きています。

“ゴールデンルール” “金を持つ者が支配する” と、よく言われますね。

金、金、金、ゴールドフィーバー！

天では、金はどういうものでしょうか。

この地上では最も価値が置かれる金が、天ではアスファルト。

私たちが天に行った時には、もはや「わお！道が金でできている!!!」ではなく、「これ見ろよ！舗道だよ！」

この辺りの道では「すごいな！アスファルトだ！」とは言いませんね。

私たちはアスファルトの上を車で踏みつけ、唾を吐き、コーラをこぼしたりして、アスファルトのことなんか誰も気にも留めていません。

神は何を言いたいのでしょう？

それは、この地上で最も価値が置かれているもの、思うに、あなたが最も喜び、熱狂するもの、価値を

置くもの、最高にワクワクするもの、大興奮する体験、何であれ、あなたがこの世で最も価値を置くものが、天国ではアスファルトのよう、ゴミに出してしまうようなものだということ。

地上で味わった最高の喜びは、天であなたを待ち受けるものと比べれば、まるでゴミか犬のフンを集めているようなもの。

言っておきますが、あなたが歓喜するどんな体験も、ワクワクするどんなものも、天国に行った時には誰もが驚くはず。「なんとっ！ 地上では何よりも大切に思え、どんなものよりも喜びを感じたことが、ここでは何よりもクダラナイものだなんて！」「それらを遥かに超えてすごい!!」というイメージで、ただの道路、舗道が金でできています。

私は、この都の中に神殿を見なかった。それは、万物の支配者である、神であられる主と、小羊とが都の神殿だからである。(黙示録 21:22)

分かりましたか？ 神殿がないのですよ。

先日、キャンプで子供たちに教えていたのですが、火が燃え、湖はただただ美しく、子供たちが賛美している。

そこで主の臨在を感じながら、「帰りたくない。ずっとここにいたい。」と思いました。

朝の礼拝や日曜夜の集会など色んな集まりに参加しながら、主の臨在を感じて、「いつまでもここにいたい」と思うことがあるでしょう。

天国では？ そこには、キャンプファイヤーも神殿も礼拝堂もありません。

なぜなら、あなたは「ああ素晴らしかった。」「ずっとここにいたい。」なんてことは言わず、絶対に離れないで、ずっとそこにいるからです。

あなたが行く所どこでも、全てに、全体に主の臨在だけがあってすごいのです。

心が躍り、涙が溢れ、温かい気持ちになる。

天国では、主の臨在がどこにでも満ちているので神殿がありません。

神殿に出向かなくてもそこにあるから。

それから見て下さい。

それは、万物の支配者である、神であられる主と、小羊とが都の神殿だからである。(黙示録 21:22)

御父と御子。これはどういう意味ですか？

私の個人的な考えでは、天国に行ったら御父と御子の両方に会うのだと思います。

御父は“霊”だという事は分かっています。しかし、そこにいと、何らかの形で「御父である大いなる神と小羊だ！」ということが分かるのでしょ。

どうして二人なのか？

私たちは成長していく中で、父親が必要だということが分かります。

問題で困っている時やお金が必要な時、それ以外でも父親の代わりは誰もいません。

実に、父親が必要なのですが、実際に一緒にいるのは誰ですか？

一緒に出かけたり、キャッチボールをするのは？ 近所の子供にやられた時に、そばにいてやれるのは？ “お兄ちゃん”ですよ。

ヘブル人への手紙に、イエスは私たちの何だと書いてありますか？ “兄” (ヘブル 2:11)

父がいて、兄がいる。

私たちには、完璧な父親と完璧な兄がいる、ということを知るだけで十分に満たされませんか？

その御父と兄が神殿なのです。彼らが神殿です。

それは、万物の支配者である、神であられる主と、小羊とが都の神殿だからである。(黙示録 21:22)

都には、これを照らす太陽も月もいない。というのは、神の栄光が都を照らし、小羊が都のあかりだからである。(黙示録 21:23)

ノートを取っている人は、イザヤ書 30:26 を書き留めて下さい。

月の光は日の光のようになり、日の光は七倍になって、七つの日の光のようになる。(イザヤ書 30:26) 千年王国の時に。

だから日焼け止めと鼻のカバーを忘れずに。ものすごく眩しくなるから。

でも新しいエルサレムでは、太陽も月も全く必要ないのです。

というのは、神の栄光が都を照らし、小羊が都のあかりだからである。(黙示録 21:23)

素晴らしい!!

諸国の民が、都の光によって歩み、地の王たちはその栄光を携えて都に来る。(黙示録 21:24)

私が好きな 25 節。

都の門は (輝く新しい都の門は) 一日中決して閉じることがない。

そこには夜がないからである。(黙示録 21:25)

これ、想像してみてください。城壁の高さは 65m。

そこに門があるのですが、それは決して閉じられません。すごいじゃないですか！

私がロサンゼルス大学の学生だった時、当時付き合っていた彼女をディズニーランドに連れて行きました。ある秋の夜、5時59分に到着して、地上で一番ハッピーな所、マジックキングダムを楽しみにしていました。分かるでしょ？ ただもう、ワクワクして、6時前に到着しました。そしたら、丁度門が閉まるところで、ものすごいガッカリですよ。

ディズニーランドが秋冬には6時に閉園するなんて知らなくて。その時に知りましたが。マジックキングダムは最高にハッピーなんかじゃなくて、とんでもない所になってしまいました。だって、門が…。ジッパディドゥーダー♪なんて音楽と一緒に門が閉じられ、鍵がかかって、幕が下りてくるのです。サイアクです。

でも、本物のキングダム (王国) では、言っておきますが、門は絶対に閉まりません。

「ええっ！何てこったっ!!! あれがしたかったのに出遅れた!!」というようなことは絶対にない。キングダムでは、逃がすことは何ひとつありません。

そこは真のキングダム。本当に最もハッピーな場所で、永遠に神が臨在される所です。

城壁はあります。でも、門は常に開いているのです。

先に出て来たこの壁もまたダイヤモンドで透き通っています。

これはある意味安全のためですが、何も心配いりません。

害を加えるものは何もなく、門は常に開いているのです。

安全を表す壁が透明であることを私が指摘するのは、これは安全ではあるが秘密がない、ということ

言うためです。

今は人と人との間に壁がありますね。

「彼女は一体何を考えているんだろう？」「あの人たちは、家に帰る車の中で何を言っているのかしら？」「本当は今、何を思っているんだろう？」「もう夜の 9 時だ、とか？」

「本心はどうなの？」など、私たちの間には壁があって、はっきりとは分かりません。

だけど天国では、もう、やきもきする必要はないのです。

安全は確保されていますが、秘密はなく、門はずっと開いている。最高ですね。

こうして、人々は諸国の民の栄光と誉れとを、そこに携えて来る。(黙示録 21:26)

私たちはキリストの花嫁として、そこにいます。

しかし、すべて汚れた者や、憎むべきことと偽りとを行う者は、決して都に入れず。小羊のいのちの書に名が書いてある者だけが、入ることができる。(黙示録 21:27)

皆さんにお願いです。

今週、時間を取ってもう一度、黙示録 21 章と 22 章を読んで下さい。

今日お話しした描写を思い浮かべながら読むと、きっとワクワクするでしょう。

聖霊が導いて、空白の部分埋めながら、理解を与えてくれるはずですよ。

そうすればあなたも「本当だ！」と分かってきます。

大事なのは、学んでいる黙示録の流れを理解すること。

自分が牧会していた集会の人々のことを心配している、というよりも、彼らを心から思い、愛している牧師、黙示録の著者、牧師ヨハネ。

以前お話しした通り、彼が愛する人たちは、大変過酷な迫害の中にいました。

この書の全て、黙示録が強調しているクライマックス、聖霊に導かれた牧師ヨハネが知っていたこと、6 章以降 19 章まで全部が患難ですが、当時、患難の中で迫害に苦しんでいた、ヨハネの愛する人たちが理解しておくべきこと、それは、勝利のカギ、喜びのカギ、抑圧、失望、落胆の解毒剤。

それは、一つ。一つです。“天国”

私だって、生きてると落胆することがあります。皆さんもそうでしょう。

試練やストレスや人とのトラブル、プレッシャーもあります。

主は、あなたや私に何と言っておられるのでしょうか？

「あなたがたは心を騒がしてはなりません。

神を信じ、またわたしを信じなさい。

わたしの父の家には、住まいがたくさんあります。

もしなかったら、あなたがたに言うておいたでしょう。

あなたがたのために、わたしは場所を備えに行くのです。

わたしが行って、あなたがたに場所を備えたら、また来て、あなたがたをわたしのもとのに迎えます。わたしのいる所に、あなたがたをもおらせるためです。」(ヨハネ 14:1-3)

心を騒がせないで、天国を思いましょう。

天国を理解して、天国のために生きましょう。

天国にフォーカスしましょう。

イエスは続けて、「わたしの行く道はあなたがたも知っています。」(ヨハネ 14:4)

弟子の一人が、「主よ。どこへいらっしゃるのか、私たちにはわかりません。

どうして、その道が私たちにわかりましょう。」(ヨハネ 14:5)

その時イエスは彼に言いました。

「わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。

わたしを通してでなければ、だれひとり父のみもとに来ることはありません。」(ヨハネ 14:6)

主は、「心を騒がせるな」と言いました。その方法は、天国にフォーカスすること。

「ジョン、いつでもどんな時でも、天国に目を向けるなら、鬱や失望や絶望に押しつぶされることはない。もし天から目を離し、現在の一時的なものにとらわれたなら、水の上のペテロのように波と風に目を向けたなら、あなたも恐怖に襲われて鬱の波の中に沈んでしまう。」

皆さん、黙示録には、実用的なことがたくさん書かれています。

それは、患難の真ただ中にいる人たちに語りかけていて、そのクライマックスは、天国のビジョンと理解。

天国的思考を持ちましょう。そうすれば、押しつぶされることはありません。

失望させられることもありません。

あなたの心を天に向けて下さい。

そうしたら、鬱から、精神的な問題から、自由になれます。

それが、牧師ヨハネ (John ジョン) が彼の愛する人たちに伝えていること。

そして、私、牧師ジョン、小さい者が現代の皆さんに伝えたいことです。

天国！

あのときは御声が地を揺り動かしましたが、今は、こう約束しておられます。

「もう一度、わたしは、地だけではなく 天をも揺り動かす。」

この「もう一度」ということばは、揺り動かされないものが残るために、揺り動かされるもの、すなわち造られたものが取り除かれることを示しています。

このように揺り動かされない御国を受けるのですから、私たちは感謝しようではありませんか。

感謝しつつ、敬虔と恐れをもって、神に喜ばれる礼拝をささげようではありませんか。

私たちの神は焼き尽くす火なのです。(ヘブル 12:26 - 29 新改訳 2017)